



2019年3月期第2四半期
決算説明会資料

2018年12月13日
株式会社ビーイング
JASDAQ : 4734

■ 主力商品のバージョンアップにより、大幅増収増益

- 売上高 2,937百万円（前年比 + 588百万円 + 25.0%）
- 営業利益 399百万円（前期比 + 356百万円 + 826.7%）

■ さらなる成長に向けた商品開発投資を継続

- まず設備関連セグメントに商品投入
- 設備業総合支援システム『要(カナメ)』、plusCAD水道にJW_CAD対応版

■ コンサルティング事業が新たに成長分野に

- 来年1月に分社化し、来期から独立セグメントとする予定

1. 会社概要及び決算概要

会社概要

- 会社名 株式会社ビーイング
- 本社 〒514-0003 三重県津市桜橋1丁目312番地
- 資本金 1,586百万円
- 設立 1984（昭和59）年9月18日
- 上場 1999（平成11）年10月29日
- URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
- 関係会社 株式会社プラスバイプラス（大阪市） URL: <http://www.pluscad.jp/>
Being (Myanmar) Co.,Ltd.（ミャンマー連邦共和国）
株式会社ビーイングDC（長崎県） URL: <http://www.beingcorp.co.jp/beingdc/>
Progressive Labs Ltd.（イスラエル） URL: <https://progressive-labs.com/>

3つの事業領域

建設
関連
セグメント

[建設業を支援]
建設ICT
Solution

[生産性向上を支援]
TOC
Consulting

設備
関連
セグメント

[設備業を支援]
設備CAD
Solution

Gaia10

見積・実行予算システム

BeingBudget

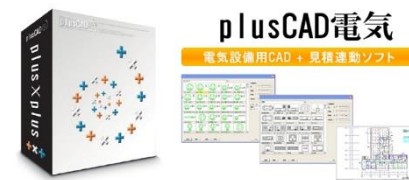
BeingCollaboration®

BeingManagement 3

Critical Chain
Project Management

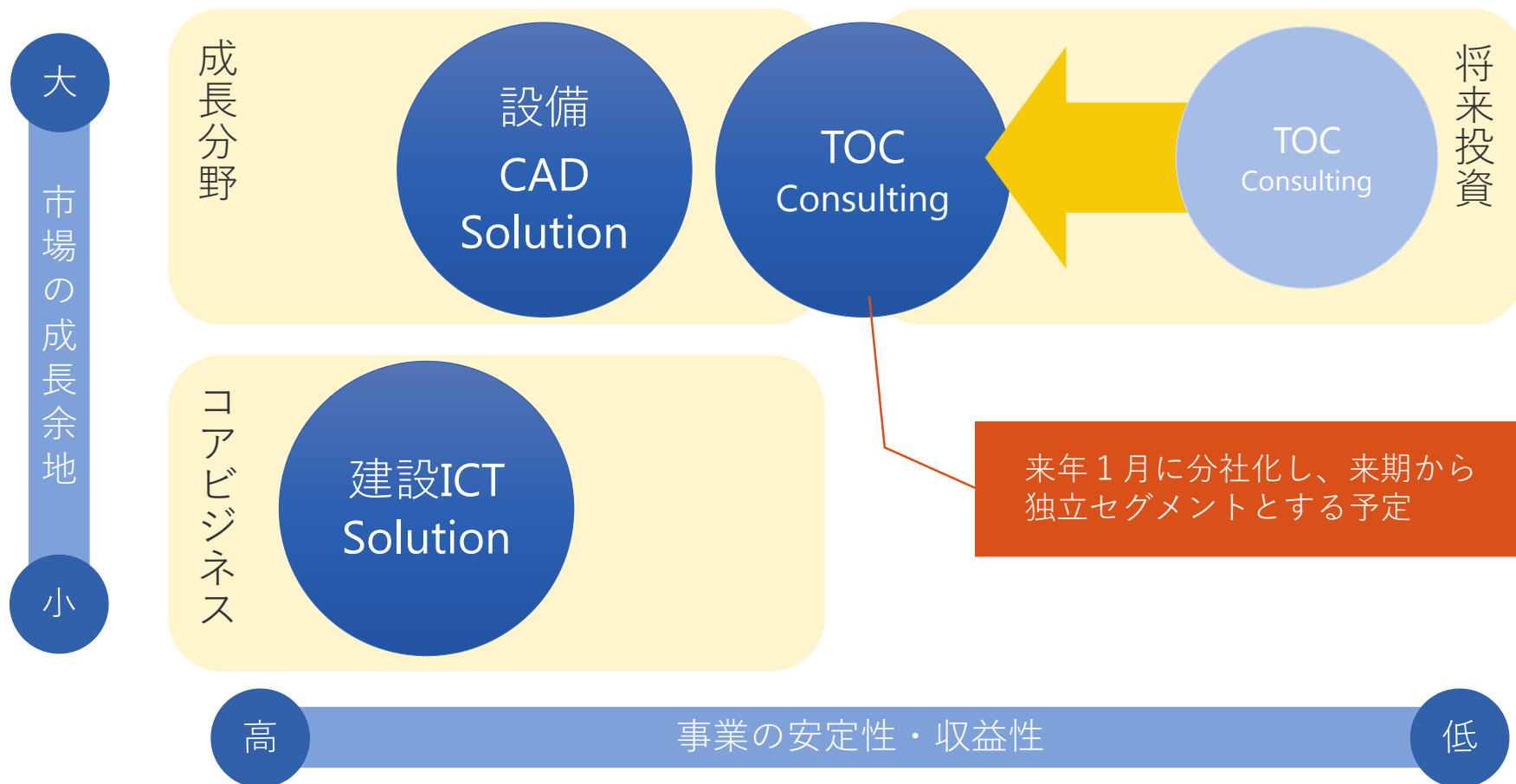
ProLaris™

Production and Demand Driven Value Networks

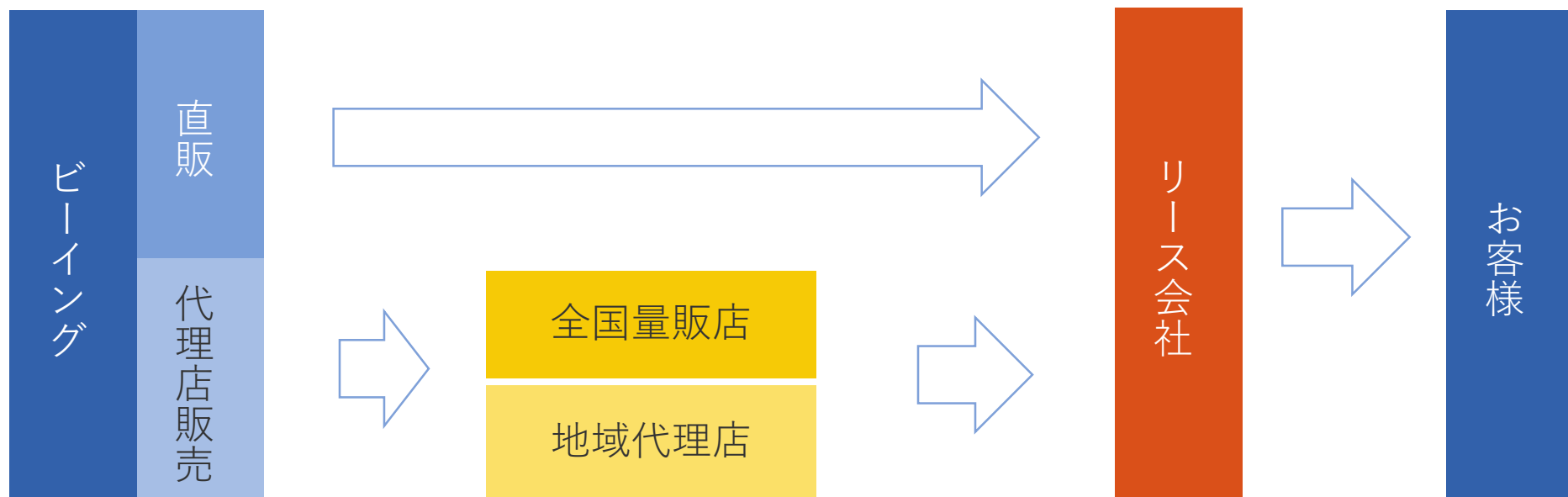


事業領域の位置づけ

TOCコンサルティング事業の収益性が高まり、将来投資から成長分野に



商流について



当社ビジネスモデルの強み

- 特定取引先に偏らないバランスのとれた流通網
- リース販売によって、貸し倒れリスクを極小化
- リースアップ時の更新商談が可能
- リース期間中のメンテナンス費用は「前受収益」として計上。健全な財務基盤を構築

連結業績ハイライト

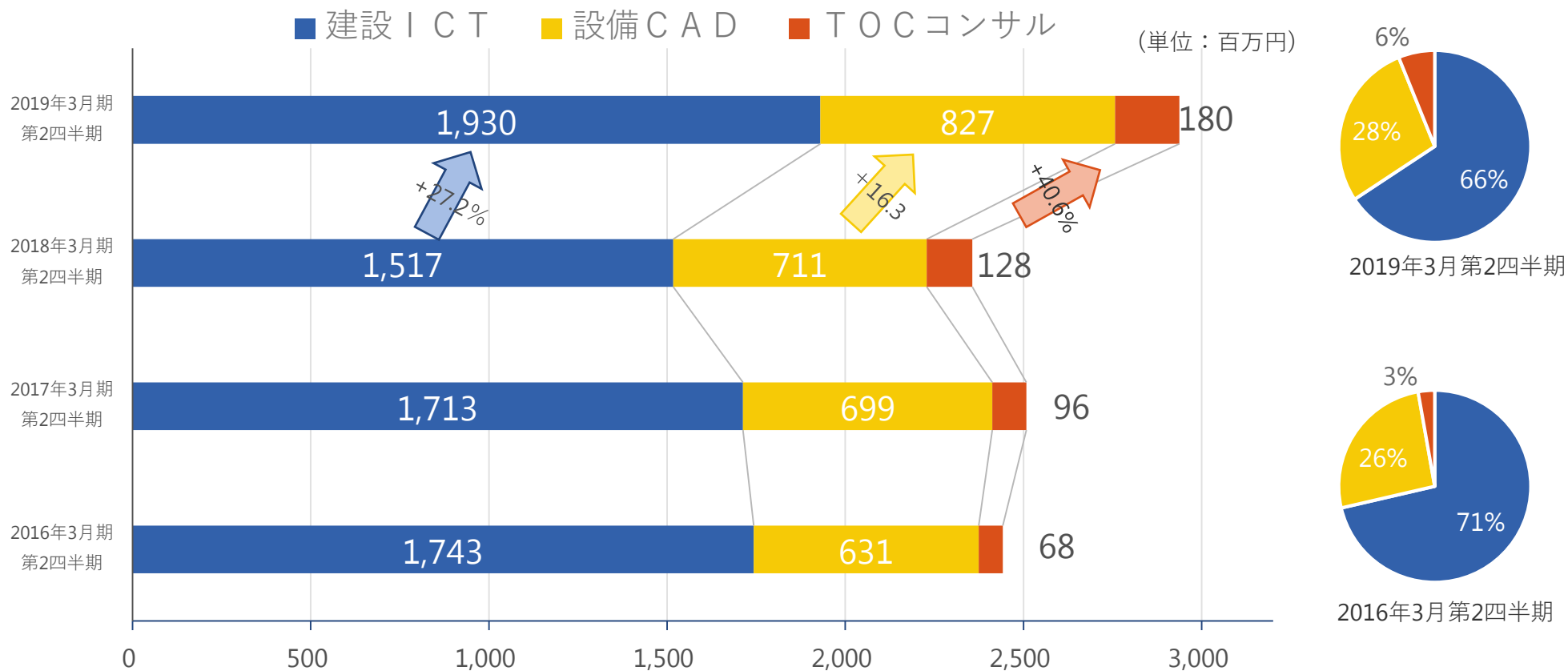
- 第2四半期としては、過去最高売上高を更新
- 利益面でも開発コストの増加をこなしつつ、大幅増益

(単位：百万円)

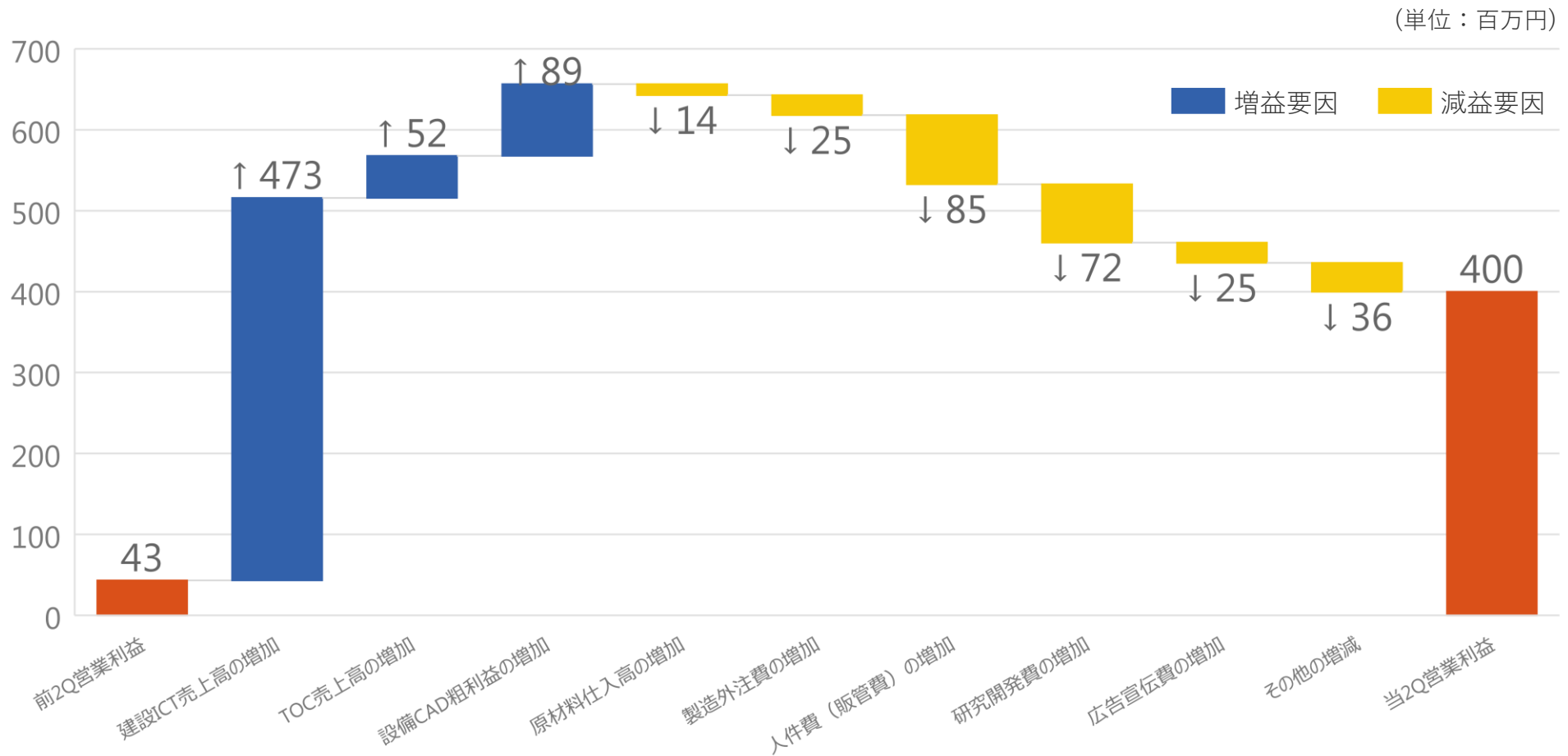
	2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	2,937	2,349	588	25.0%
営業利益	399	43	356	826.7%
税金等調整前 当期純利益	416	41	375	902.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	273	8	264	—
営業利益率	13.6%	1.84%		
一株当たり当期純利益	34.90円	1.14円		

事業領域別の売上高

- すべての事業領域で大幅増収を達成
- 建設ICTソリューションへの依存度の低下



営業利益の増減要因分析



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019/3期 第2四半期実績	2018/3期 実績	前期比増減額	主な増減要因
流動資産	5,605	5,251	353	現金及び預金の増加
固定資産	1,753	1,682	71	
資産合計	7,358	6,933	424	
流動負債	1,874	1,681	193	未払法人税等の増加
固定負債	2,020	1,977	43	
負債合計	3,894	3,658	236	
純資産合計	3,463	3,275	188	
R O E	7.9%	3.1%		
一株当たり純資産	442.60円	418.48円		

連結キャッシュフロー計算書

- Gaia10発売によって売上が伸びたことにより、営業C Fが増加
- 有価証券の満期償還により、投資C Fが増加

(単位：百万円)

	2019/3期 第2四半期実績	2018/3期 第2四半期実績	前期比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	824	296	527
投資活動による キャッシュ・フロー	154	△44	199
財務活動による キャッシュ・フロー	△78	△94	16

セグメント P L

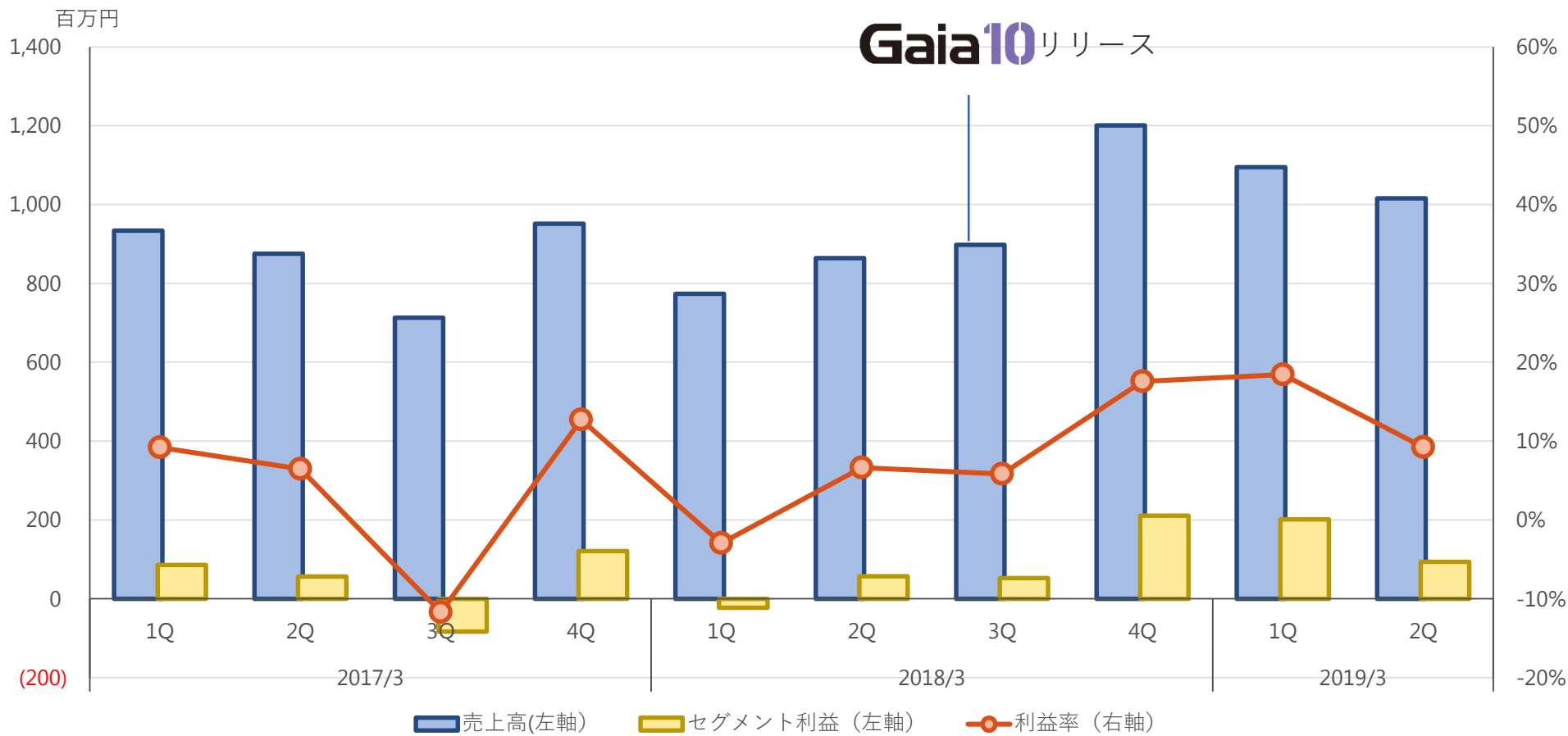
- 建設関連セグメントは、開発コストの増加をこなしつつ大幅増益
- 設備関連セグメントは、前下期の減速から回復

(単位：百万円)

		2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	前期比	
				増減額	増減率
建設関連	売上高	2,110	1,637	472	28.9%
	営業利益	295	34	260	760.0%
	営業利益率	14.0%	2.1%		
設備関連	売上高	827	711	115	16.2%
	営業利益	114	19	95	494.1%
	営業利益率	13.9%	2.7%		

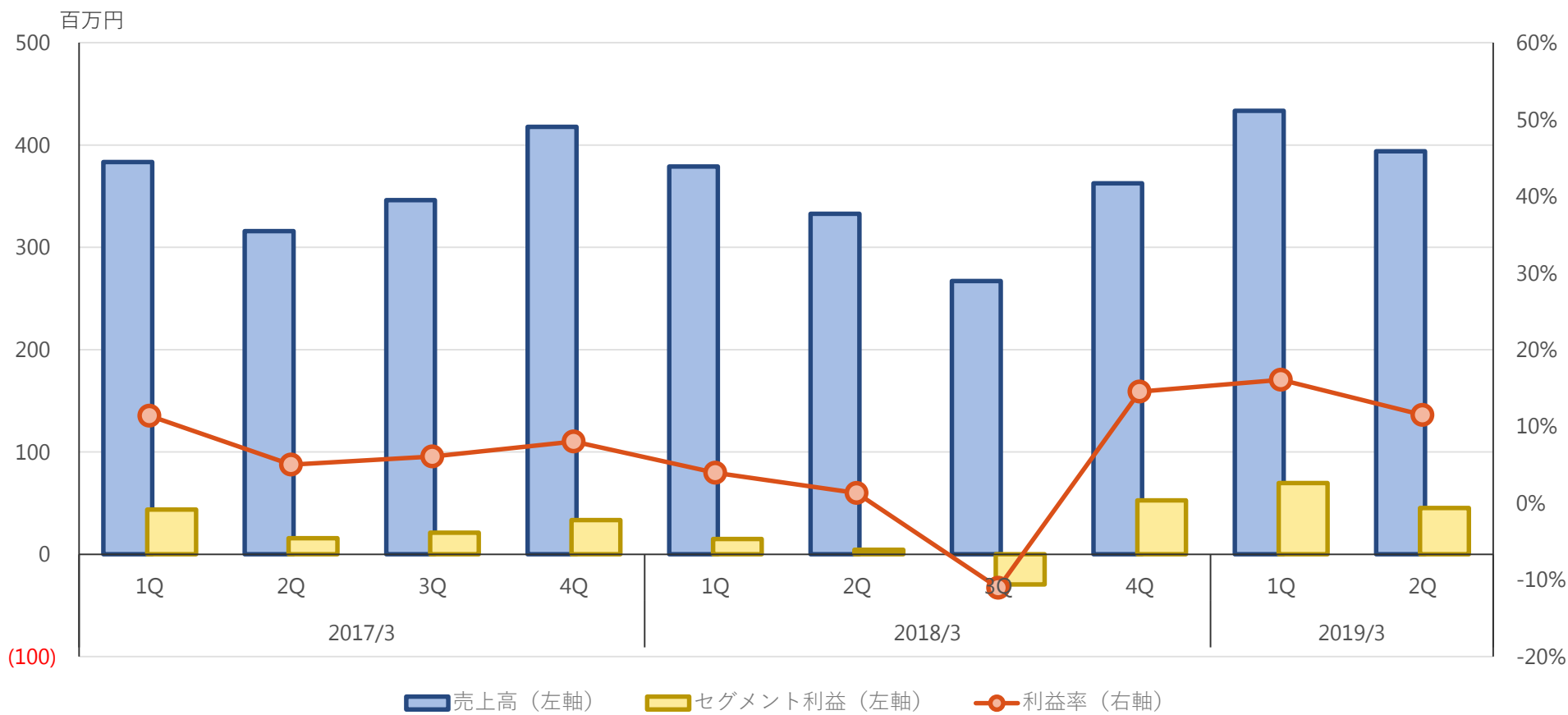
建設関連セグメント：四半期推移

- Gaia10投入効果により大幅増収



設備関連セグメント：四半期推移

- 前下期の不調から回復
- 11月に新商品を投入し、さらに加速へ



グループ従業員数について

- 第2四半期末時点では大きな変動はない。
- 期末にかけて採用を進めている。

(単位：人)

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期 第2四半期	増減
建設ICT Solution	261	303	298	299	+1
（内、Being Myanmar）	（－）	（30）	（32）	（29）	（△3）
TOC Consulting	14	15	15	14	△1
設備CAD Solution	73	77	79	82	+3
グループ合計	348	395	392	395	+3
（内、営業・サポート系）	（219）	（227）	（225）	（219）	（△6）
（内、開発系）	（101）	（140）	（140）	（142）	（+2）

今期の取り組み

建設ICT Solution

- 既存顧客の更新率100%を目指す
- インフラ系企業の積算ニーズ開拓
- 見積・実行予算システム「BeingBudget」の拡販

設備CAD Solution

- 新商品投入による新規販売の回復
- 新機能搭載によるバージョン・アップ推進

TOC Consulting

- 成功事例発表によるプロモーションの強化

建設ICTソリューション進捗状況

建設ICT Solution

- 既存顧客の更新率100%を目指す
- インフラ系企業の積算ニーズ開拓
- 見積・実行予算システム「BeingBudget」の拡販

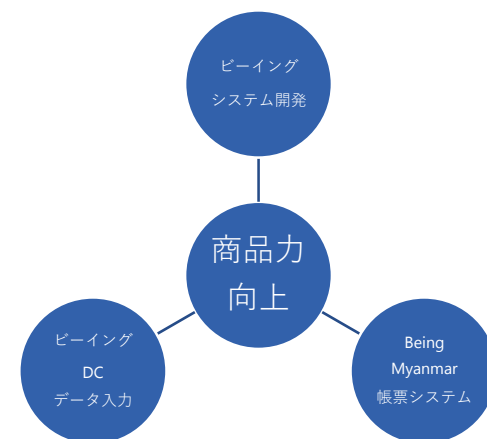
■上期のバージョンアップ予算 100%達成

一方で、新規販売が予定を下回る。

グループ開発体制を強化して、商品競争力をさらに向上させる。

■インフラ系企業のニーズ開拓 順調

■BeingBudgetの拡販では、カスタマイズ販売が堅調



設備CADソリューション進捗状況

設備CAD Solution

- 新商品投入による新規販売の回復
- 新機能搭載によるバージョン・アップ推進

■設備業向け一元管理システム『要（カナメ）』

売上、労務費、経費を一元管理

現場毎の収支をリアルタイムに把握

出退勤や日報は、iPhoneで現場から入力

plusCADユーザに新規販売 顧客深耕



■plusCAD水道J

設備業界で最も普及しているJW_CAD（フリーソフト）に対応
JW_CADから自動でplusCADの申請図面が完成

バージョンアップ及びJW_CAD活用層に新規展開

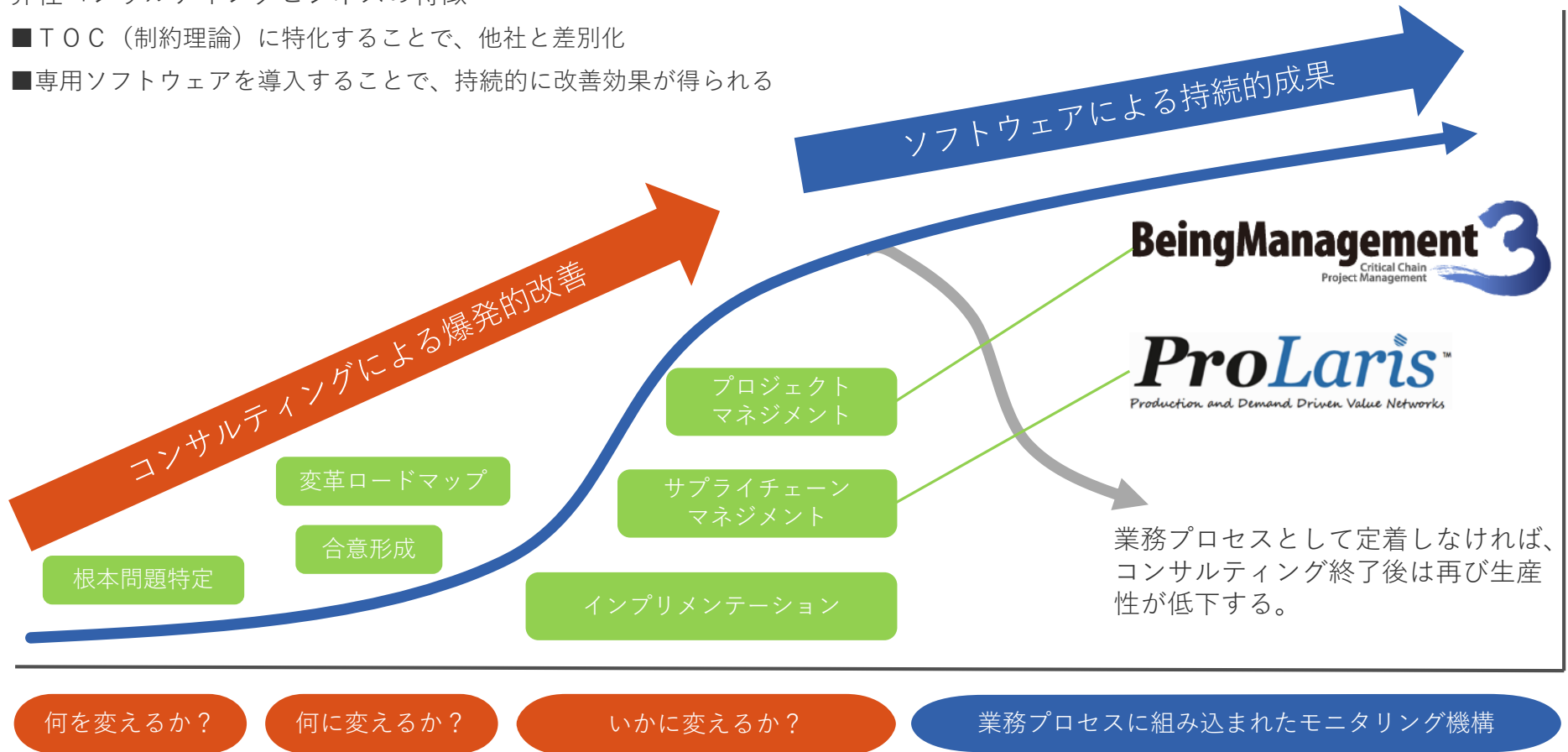
TOCコンサルティング進捗状況

分社化により、コンサルティング・ファームとしてのブランド確立を目指す

弊社コンサルティングビジネスの特徴

- TOC（制約理論）に特化することで、他社と差別化
- 専用ソフトウェアを導入することで、持続的に改善効果が得られる

生産性



連結業績予想

- 下期売上は、おおむね前年同期並みを想定
- 開発投資は下期にさらに増加させる計画

(単位：百万円)

	2019/3期 予想	2018/3期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	5,600	5,077	522	10.2%
営業利益	450	319	130	40.9%
経常利益	460	326	133	41.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320	102	217	211.9%
営業利益率	8.0%	6.3%		
一株当たり当期純利益	40.89円	13.07円		
年間配当金	15.00円	10.00円		

配当に対する考え方



- 企業が獲得した利益は、株主、企業、国等で3分割することが基本と考えています。
- 現在の配当方針は、将来の事業展開を勘案しつつ、税金等調整前当期純利益の20%~30%を目安として配当を行う方針であります。

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (予想)
税金等調整前 当期純利益 (千円)	585,951	525,610	279,995	232,597	460,000
1株当たり配当金	15.0円	15.0円	12.0円	10.0円	15.0円
配当総額 (千円)	117,960	117,960	94,368	78,264	117,396
税金等調整前当期純利益 からの配当率	20.1%	22.4%	33.7%	33.6%	25.5%

(参考) 中期経営計画

中期事業計画のスコープ

建設ICT
Solution

建設業界のサプライチェーン革新企業へ

設備CAD
Solution

企画機能を持つ設備業支援企業へ

TOC
Consulting

TOCコンサルティングNo.1

中期経営計画のターゲットを修正

修正要因

- 商品開発、投入計画の修正
- 新商品・サービスの立ち上がり速度を見直し

	前中期計画 最終年度	現中期計画 最終年度	(単位：百万円)
	2017/3期	2020/3期	2021/3期
売上高	4,936	7,000	6,000
営業利益	272	1,000	300
営業利益率	5.5%	14.3%	5.0%

計画実現のための商品開発のウエイト

商品開発

建設ICT
Solution

建設業界のサプライチェーン革新企業へ

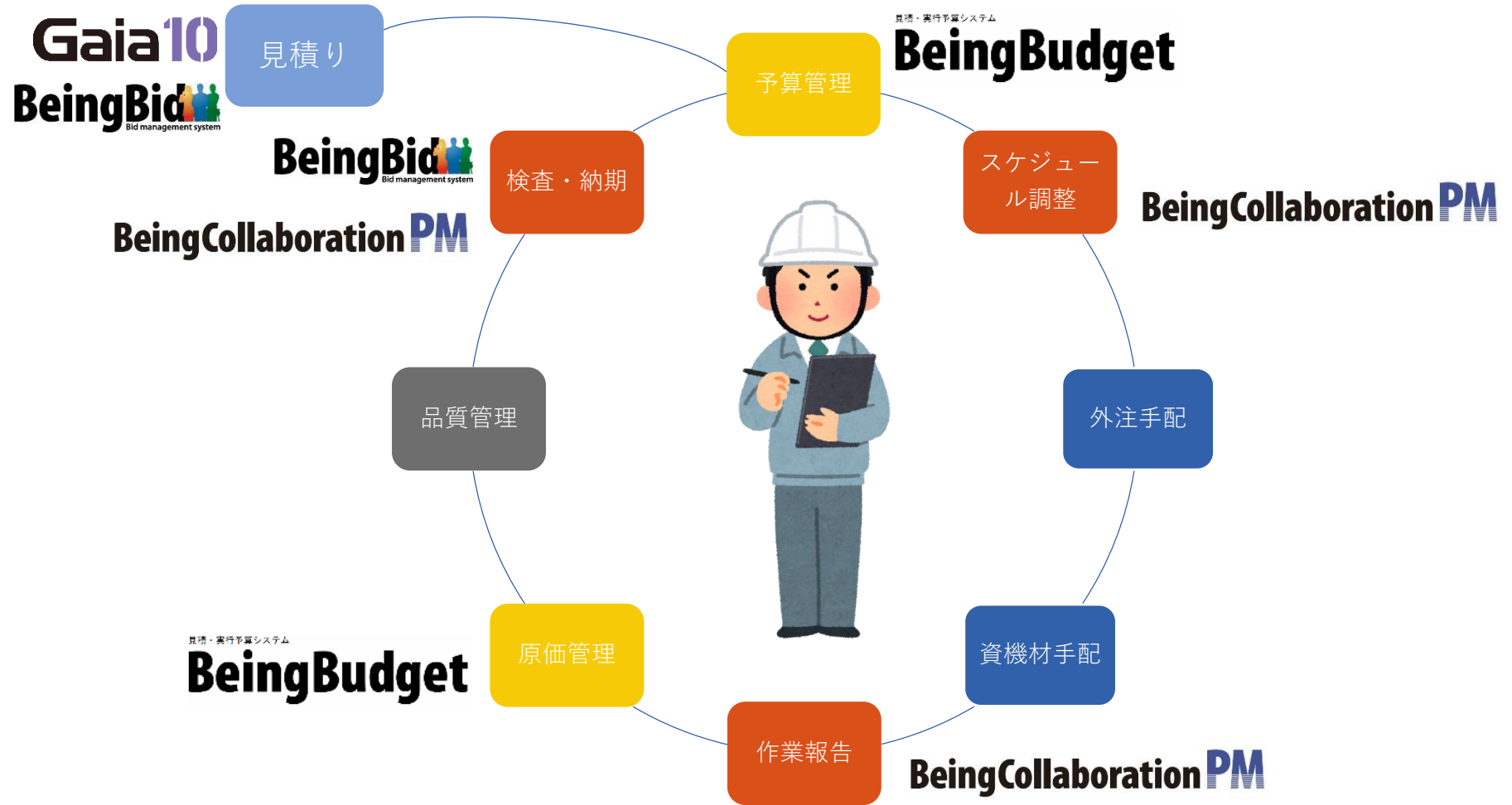
設備CAD
Solution

企画機能を持つ設備事業支援企業へ

TOC
Consulting

TOCコンサルティングNo.1

現場代理人をICTで支援



本日は、ありがとうございました。

Information Systems for Human being.



— 本資料に関するお問合せ先 —
株式会社ビーイング IR担当
TEL : 059-227-2932
FAX : 059-227-2907

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日も説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

From **Being** to **Becoming** !

Copyright(c) Being Co., LTD. All Rights Reserved.